

秦野市地球温暖化対策実行計画案に対するパブリックコメントの実施結果について

1 意見募集期間

令和4年1月29日（土）から同年2月28日（月）まで

2 意見募集の周知方法

広報はだの2月1日号及び市ホームページ

3 計画案の公表方法

- (1) ホームページへの掲載
- (2) 公民館、図書館及び駅連絡所における閲覧
- (3) 本庁舎行政情報閲覧コーナーにおける閲覧
- (4) 環境共生課における閲覧

4 意見提出方法

郵送、FAX、電子メール及び持参の方法による

5 提出された意見の内容及びその取扱い等

内容分類	件数	意見への対応区分（※）				
		A	B	C	D	E
01 基本的事項に関すること	10	1	1	1	2	5
02 区域施策編に関すること	39	1	7	8	10	13
03 適応策編に関すること	8	1	3	2	1	1
04 事務事業編に関すること	19	1	7	5	4	2
05 推進体制等に関すること	1	0	1	0	0	0
全体に関すること	16	0	1	6	0	9
計	93	4	20	22	17	30

※ 意見への対応区分

- A：意見等の趣旨等を構想に反映したもの
- B：意見等の趣旨等は既に構想に反映されていると考えるもの
- C：今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
- D：構想に反映できないもの
- E：その他（感想、質問等）

秦野市地球温暖化対策実行計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
1	7	「3. IPCC（国連気候変動に関する政府間パネル）の取組」11行目、「…第6次評価報告書が公表される予定であり、」とありますが、図表C-1に第6次報告書の内容が記載されており、まだ公表予定の内容を記載することに違和感があります。	A	ご意見を参考に図表に「【予定】」を追加します。
2	10	「図表01-1-1に「森林整備面積4,706ha」とありますが、森林整備計画では4,799haとありますが、4,706haは正しいのでしょうか。	E	秦野市森林整備計画書2Pに記載のとおり、「神奈川県地域森林計画の対象となる4,706ha」のことで。
3	13	13ページの内容は、そもそも本計画の目的やその内容に照らしても、詳細すぎる内容で必要のあるページではないと思います。	D	製造品出荷額等及び業務系構造物床面積は、産業部門及び民生（業務）部門におけるCO ₂ 算定に必要なデータです。（各部門の算定方法については、資料編に追加予定）
4	15	大学との連携とあるが、東海大学とはどのような連携を図っていくのか。	E	東海大学の知的資源について、特に産業部門におけるイノベーションに活用するため、産・学・金・公連携の一角を担っていただきたいと考えています。
5	21	計画の位置づけについて、市長マニフェストとの整合はどのようか。	E	地球温暖化対策という普遍的な取組であることから合致しているものと考えます。
6	22	秦野市地球温暖化対策実行計画の基本的事項として、具体的取組の範囲として区域施策編、事務事業編、適応策編とありますが、もっとわかりやすく、同ページでなくてもいいので各主体（市、企業・民間団体等・市民）での取り組むことを記載した方がわかりやすいと思います。	B	各編の目的や具体的取組において、コラムやメモを取り入れながらわかりやすく記載しています。

秦野市地球温暖化対策実行計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画面 該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
7	23	基本理念の「みんなごと」はもっともであり、取組をいかにして市民に波及させていけるのか、インセンティブ等の付与も踏まえ積極的に検討されたい。	C	環境配慮行動にインセンティブを与えることで、プライオリティの高い位置付けにしていくといった仕組みづくりは重要であると認識しています。 そのため、「COOL CHOICE」や「脱炭素コンソーシアム(仮称)」を展開しながら、市民への波及性の向上に努めます。
8	23	図表01-2-9で、事務事業編（市役所実行計画）で「IV率先行動の徹底」とありますが、令3陳情第6号「秦野市の2030年温室効果ガス削減目標の大幅な引き上げを求める陳情」が不採択されてその代案の提案がないなど、秦野市議会議員や職員の理解が乏しい印象です。秦野市議会議員を含めた研修や講習会を行うようにしてください。	E	事務事業編は、執行部を対象とした計画ですが、研修や講習会については、率先行動の一環として議会と連携しながら実施していく方向で検討しております。
9	23	図表01-2-9で、事務事業編（市役所実行計画）で「地域の範となる事業所を目指す」とありますが、「地域の模範となる市役所を目指す」の方が適していると思います。	D	市役所を市域の一事業所としての位置付けとしておりますので、現行の表現のままとします。
10	24	「3. カーボンニュートラルの実現に向けた基本方針【ロードマップ】」の主な達成目標に「2013年度比46%削減」とありますが、神奈川県地球温暖化対策計画では「2013年度比27%削減」となっています。かなり高い数値で達成できるか疑問ですが、問題のない数値設定でしょうか。	E	神奈川県地球温暖化対策計画においても、国の温室効果ガス削減目標値である「2013年度比46%削減」への見直しは決定しています。 よって、国・県に倣う姿勢は、高みを目指す意思表示であるとともに、施策においても、連携や協調性の観点から有利に働くものと認識しています。
11	27	「目的」4行目、「…（本市においては、策定は努力義務）」とありますが、わざわざここで記載する必要はないと思います。	E	2050年ゼロカーボンシティへの挑戦表明を踏まえた本市の姿勢を示しています。
12	28	二酸化炭素排出量について、算定方法を明らかにされたい。	A	documents「資料編」に、区域施策編における算定方法を追加します。

秦野市地球温暖化対策実行計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
13	30	図表02-5と29ページに記載されている図表02-4と数値内容が合いませんが、この2つの図の関連性がわかりません。	E	図表02-4は将来推計値であり、同02-5は現状値と目標値を示しているため、すべての数値内容が異なります。
14	31	ライフスタイルの変革を促すには、商工会議所とタイアップ（クーポンや割引）するなど、事業者を巻き込んだ取組を検討されたい。	C	「脱炭素コンソーシアム(仮称)」における協議事項と捉えています。
15	33	「(2) 適切な緑の整備等による吸収源の拡充」の「【課題】」3行目、「…新たな価値」とありますが、抽象的過ぎる印象があります。もっと具体的に記載するべきだと思います。	B	41.42Pに具体的に記載しています。
16	34	時宜を捉えた「ゼロカーボンシティ表明」は評価したい。この表明を実現するため、特に、事業者において脱炭素経営を意識してもらえるかが重要であると考えますが、事業者間の温度差は大きい。例えば、再エネ電力に転換した場合には税制優遇されるなど、中小企業も行動に移しやすくなるような環境整備を検討されたい。	C	「脱炭素コンソーシアム(仮称)」における協議事項と捉えています。
17	34	区域施策編については、事業者とともに取り組まなければならない。事業者においては、脱炭素を軸として事業者間の競争、成長・発展につなげていってほしい。	C	「脱炭素コンソーシアム(仮称)」における協議事項と捉えています。
18	34.35	区域施策編の産業部門（民生業務部門）の具体的取組にある「脱炭素コンソーシアム(仮称)～」について、その取組として投資も視野に進めていくべきだ。	C	同取組における協議事項と捉えています。

秦野市地球温暖化対策実行計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
19	34	「I-i 産業部門の取組」の具体的取組として、特に優れた地球温暖化対策を行った企業などに表彰をして、「かながわ地球環境賞」の推薦を神奈川県にしたら取組みが進んで広がると思います。	C	「脱炭素コンソーシアム(仮称)」における協議事項と捉えています。
20	34	「I-i 産業部門の取組」の具体的取組のKPIで、「脱炭素イノベーションに係る「産・学・金・公」連携事業数」の目標値が2025年度が3事業で2030年度1事業となっています。それぞれ行う内容は違いますが、目標とする事業数は推移させるべきだと思います。	C	検討・合意の状況を踏まえながら、今後の検討事項とします。
21	34	「I-i 産業部門の取組」の具体的取組で、「脱炭素コンソーシアム(仮称)の組織による情報交流及びセミナー等の開催」とありますが、開催だけでなくその開催が地球温暖化に繋がっているか追跡しなければ開催するだけの形骸化する取組になります。開催数だけでなく、それがいかに地球温暖化対策の取組になったかどうかの指標も入れるべきだと思います。	D	同取組における協議事項と捉えています。
22	36. 37	「COOL CHOICE」への賛同について、ライフスタイルの変革はもつともである。そのため、市民への普及とともに、みんなごとにつながるモデルケースの紹介等があれば有難い。	E	「概要版」や、新たな視点「こども版」を作成する中で対応していきます。
23	36	「I-ii A民生(業務)部門の取組」の具体的取組のKPIで、「COOL CHOICEに賛同する事業者数」とありますが、賛同とは具体的にどのような内容でしょうか。文字通り、賛成するするだけなのか、これに関する具体的な取組みに対して賛成の意とするのでしょうか。個人的には行動を伴った賛成としなければ。この指標には地球温暖化対策としての意味がないと思います。	E	具体的な取組を示していただきながら、賛同を求める予定です。
24	37	「I-ii B民生(家庭)部門の取組」の具体的取組として、市民への意識啓発ももちろん一つの手段ではありますが、それだけでは抜本的な解決にはつながりません。実際に電気自動車や太陽光発電に係る設備を導入する世帯に補助金を交付するなど、市民にとって生活する上でのプラス面が現時点でないと、大きな意識改革にならないと思います。	C	環境配慮行動にインセンティブを与えることで、プライオリティの高い位置付けとなる仕組みづくりは重要であると認識しています。「COOL CHOICE」や「脱炭素コンソーシアム(仮称)」を展開しながら、市民への波及性の向上に努めます。

秦野市地球温暖化対策実行計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
25	37	「I-ii B民生(家庭)部門の取組」の具体的取組のKPIの内容が意識醸成の指標だけでなく、実質的なKPIも設けるべきだと思います。まずは市民に対する意識醸成が必要なのはわかりますが、意識醸成だけでは、市内におけるCO ₂ 排出量の約22%を占めているこの部門のCO ₂ 排出量を減らすことが厳しいと思います。また、今のKPIのままだと、2013年度比46%の数値を設定し直した方がいいと思います。	D	限られた財源の中で民生部門の削減を図るためには、市民一人ひとり、一つひとつの「足元からの取組」の実行によるライフスタイルの転換が重要であり、「意識醸成だけでは」ではなく、「意識醸成なくして」は、削減目標の達成も望めないものと考えます。
26	38	「2013年度比“66%削減”の生活とは?」、「“66%削減”」とありますが、24ページの内容と合わせて「46%」でしょうか。	E	32P及び37Pに記載のとおり、民生(家庭)部門における2013年度比の削減率です。
27	39	食品残さもバイオマス資源として活用できるが、それらを施策に取り入れていく想定はあるのか。	B	脱炭素化促進プロジェクト「バイオマス資源の最大活用」において、御意見を踏まえた構想図を描いています。
28	39	「I-iii 運輸部門の取組」の具体的取組のKPIで、「ノーマイカー通勤・時差出勤を実施した事業者数」とありますが、実施の定義を明確にしないと、地球温暖化対策になり得ない実施数でも指標達成になってしまう可能性があります。	B	事務所管課において、定義付けが明確化されていますので、効果検証を含め連携を図ります。
29	39	「I-iii 運輸部門の取組」の具体的取組のKPIで、「ノーマイカー通勤・時差出勤を実施した事業者数」は、運輸部門に限らず、産業部門や民生(家庭)部門に関わることでありますので、設けるべきだと思います。	B	すべての事業者を対象としています。
30	39	産業部門、民生部門、運輸部門は、市内におけるCO ₂ 排出量は合計で約98%を占めており、この3部門でのCO ₂ 排出量削減対策が秦野市における地球温暖化対策の中心になると思います。ただ、それぞれのKPIが2項目だけは少ないと思います。各部門で指標とするべき項目があると思います。	D	具体的取組の着実な実行が目的であり、KPIの項目数が目的とは捉えていません。

秦野市地球温暖化対策実行計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
31	40	豊かな森林資源の優位性を生かした施策について、国等へも積極的に訴えかけていくべきである。	C	「地域循環共生圏」の理念に沿った施策と捉え、積極的に推進していきます。
32	40	「I-iv 廃棄物部門の取組」の具体的取組として、事業活動から排出される廃棄物の内容やKPIも記載、設定すべきだと思います。	D	廃棄物部門の課題は、可燃物に含まれるプラスチック類の未分別であり、市民及び事業者ともごみと資源の分別の徹底が重要な取組となります。そのため、KPIについてもこの取組の延長にあるものとして、現行のままとします。
33	40	「I-iv 廃棄物部門の取組」の具体的取組のKPIで、「ごみの総量に占める資源化量（中間処理後の資源化量を含む）の割合」で、2025年度と2030年度の目標値が、秦野市ごみ処理基本計画の52ページの「図17ごみ量の予測」の推計値と合致しません。	B	秦野市ごみ処理基本計画61Pに数値目標が記載されています。
34	41	「II 吸収・固定化の取組」の具体的取組で、「もりりんや、どんぐりん妖精」…とありますが、動植物も併記すべきだと思います。	D	吸収（光合成）の取組のため、植物に限定されますので現行のままの表現とします。 なお、「もりりんや、どんぐりん」は、自然生態系の象徴として位置付けられています。
35	43	太陽光発電について、現在、売電単価の下落やパネルの処分方法に課題があるなどのデメリットが散見されているが、どのように捉えているのか。	E	再生可能エネルギーの中で、最もシステムが確立されているものが太陽光発電であり、御意見の課題は承知しているものの、課題点については、技術革新等に頼らざるを得ない状況です。 そのため、国や県においても新たなスキーム（無償設置や共同購入）により、一層の普及を推進していることから情報収集を行うとともに、積極的な協調を図っていきます。
36	43	脱炭素化促進プロジェクトにある「未利用空間を活用した太陽光発電」について、農地も有効な空間であるため併せて検討されたい。	B	産業部門の取組（34P）に、「ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）の推進」を記載しています。

秦野市地球温暖化対策実行計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
37	43	脱炭素化促進プロジェクトのうち太陽光発電について、広く普及が進む一方で、ネガティブな面（施工業者の良し悪しやパネルの処分費用など）もフォーカスされることがあるので、具体的な想定があるのであれば、十分に留意されたい。	E	再生可能エネルギーの中で、最もシステムが確立されているものが太陽光発電であり、御意見の課題は承知しているものの、課題点については、技術革新等に頼らざるを得ない状況です。 そのため、国や県においても新たなスキーム（無償設置や共同購入）により、一層の普及を推進していることから情報収集を行うとともに、積極的な協調を図っていきます。
38	43	太陽光発電の創意工夫について、教育施設も対象となり得るのか。 また、エネルギーの地産地消（域内循環）として、地域新電力事業についても検討を図られたい。	E	教育施設も対象としています。特にPPAモデル事業は、レジリエンス強化も踏まえた取組として、広域避難所（防災拠点）である小中学校がメインとなるものです。 また、この事業は、自立・分散型エネルギーシステムの構築によるエネルギーの地産地消に寄与するため、地域新電力とのマッチングは望ましい姿であると考えます。
39	43	太陽光発電の今後の展望はどのようなか。	E	再生可能エネルギーの中で、最もシステムが確立されているものが太陽光発電であり、課題（FIT価格の下落や廃棄処分方法）は承知しているものの、これらの課題点については、技術革新等に頼らざるを得ない状況です。 そのため、国や県においても新たなスキーム（無償設置や共同購入）により、一層の普及を推進していることから、情報収集を行うとともに、積極的な協調を図っていきます。
40	43	現在、市としての太陽光発電設備の設置に係る補助制度はないが、社会潮流はどのような展開を示しているのか。	E	再生可能エネルギーの中で、最もシステムが確立されているものが太陽光発電であり、課題（FIT価格の下落や廃棄処分方法）は承知しているものの、これらの課題点については、技術革新等に頼らざるを得ない状況です。 そのため、国や県においても新たなスキーム（無償設置や共同購入）により、一層の普及を推進していることから、情報収集を行うとともに、積極的な協調を図っていきます。
41	43	2030年度の絵姿でCO ₂ 排出量を46%削減しづらいと思います。KPIを増やすなどもっと絵姿をよりブラッシュアップしてシャープネスにする必要があると思います。	D	CO ₂ 排出量を46%削減した絵姿です。

秦野市地球温暖化対策実行計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
42	43	「I-i 産業部門の取組」の絵姿で「…先駆的なモデルとして、経済性も伴っています。…構築され、事業経営にも相乗効果…」とありますが、これらが地球温暖化対策に繋がるとは考えづらいです。これらに加えるか、一部削除して地球温暖化対策に関わる旨を記載した方がよいと思います。	D	CO2排出量を46%削減した絵姿です。
43	43	「I-ii A民生(業務)部門の取組」の絵姿で「…広く発信されています。」とありますが、発信だけでは直接的に地球温暖化対策に繋がらず、これではCO2排出量を46%削減の一助となる絵姿になりづらいと思います。もっと地球温暖化に繋がる内容を記載した方がよいと思います。	D	CO2排出量を46%削減した絵姿です。
44	43	「I-iii 運輸部門の取組」の絵姿で「移動に多様な選択肢が用意されるようになり…」とありますが、地球温暖化対策のためには多様な選択肢の中から、ノーマイカーになり公共交通機関が選択されるような絵姿でないといけなのではないでしょうか。また、時差出勤に関わる絵姿も記載しなければならぬと思います。	D	CO2排出量を46%削減した絵姿です。
45	43	「I-iv 廃棄物部門の取組」の絵姿で「すべての部門で資源循環型社会…」とありますが、廃棄物部門の絵姿で「すべての部門」と記載の意味がわかりません。	D	廃棄物の抑制（脱プラを含む）については、どの業種でも取り組む内容であることから記載したものであり、現行の表現のままとします。
46	44	バイオマス事業について、先進都市を拝見すると地域性が多分に影響している。本市の構想はどのようか。	E	バイオマスは、木質系以外にも食品や家畜し尿など多様であり、その活用方法も直接燃焼や発酵によるバイオガスなど再生可能エネルギーとしての活用のほか、固形燃料やセメント材の原料への加工利用など多岐にわたることから、都市部近郊においても、地域特性を生かした工夫をすれば、バイオマス活用の可能性は高まるものと考えています。 本市においては、森林資源を木材として活用する循環の中で生じる未利用材や、市民生活、事業活動等から生じる廃棄物など多様なバイオマスを組み合わせることで、地域特性を生かし、かつ地域経済の好循環に貢献するような将来像を描いていきたいと考えています。

秦野市地球温暖化対策実行計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
47	44	「脱炭素化促進プロジェクト【イメージ図】（1）バイオマス資源の最大活用」にて、すでに剪定枝や木質性の粗大ごみの資源化を進めていると思いますが、これは記載しないのですか。	B	イメージ図（構想）の範囲の中で網羅してあります。
48	44	「脱炭素化促進プロジェクト【イメージ図】（1）バイオマス資源の最大活用」にて、木質バイオマス加工施設や製材・加工施設、バイオガス施設は秦野市内にあるのでしょうか。ないのであれば、このイメージを実現するためのスキームも整えるべきだと思います。	E	御意見の施設は、本市にないため、イメージ図にあるあらゆる資源を活用したプロジェクトにおいて、整備していきます。
49	45	「脱炭素化促進プロジェクト【イメージ図】（2）太陽光発電の創意工夫」にて、「未利用空間①：河川周辺」に「例えば…」とありますが、どこまでの実現性があるのでしょうか。	E	本プロジェクトの内容は、国においてもポテンシャルを示しておりますので、技術革新はもとより、財源を確保するなどして地域特性を生かした脱炭素化促進事業として、実現性を高めていきたい取組です。
50	48	KPI「防災講演会等の参加者数」について、新しい生活様式を踏まえた多様な手法による開催を検討されたい。	C	御意見を参考に、効果検証を含めたあり方等を検討します。
51	48	「（1）現状」2行目、「…適応策としては位置付けはないものの…」とありますが、今後、地球温暖化対策を進めるためには位置付けなどを明確にするべきだと思います。	B	下段「（2）取組の姿勢」及び「具体的取組」において、位置付けています。
52	50	適応策編の自然生態系分野の具体的取組にある「モニタリング調査」について、ジビエ事業者の副業に応用できないか。	D	モニタリング調査は、動植物（150種以上）の調査を対象とし、かつ専門的な技術が求められるため、御意見に応用することは困難であると考えます。

秦野市地球温暖化対策実行計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
53	50	適応策編の自然災害分野における具体的取組に「田んぼダム」の検討を加えられないか。	C	御意見を参考に、インパクトチェーンの作成（51P）、並びに推進体制（59P／秦野市地球温暖化対策推進本部）において、検討していきます。
54	50	「Ⅲ-ii 自然生態系分野の取組」の具体的取組のKPIで、「動植物モニタリング調査（6河川）…」とありますが、何故、河川に限定するのでしょうか。山林も含めて調査すべきだと思います。	E	河川調査については、毎年の調査が可能で、かつ指標種が数多く指定（57種）されていることから調査箇所を限定したものです。 なお、御意見の山林調査（本市では「水田及び雑木林」の位置付け〔指標種：100種（各25種*4地点の動植物の合計）〕については、調査範囲が広範囲であり、毎年の調査が困難な状況であるため、本取組を詳細に進行管理する「秦野市みどりの基本計画（令和3年度から令和7年度）」の改定年次に合わせて実施していきます。
55	50	「Ⅲ-ii 自然災害分野の取組」の具体的取組の5行目、「公共施設への太陽光発電等の自家発電設備の設置…」とありますが、KPIにはこれに係る内容がありませんので、設置施設数の指標を設けるべきです。	B	本計画では、「緩和(策)」と「適応(策)」を両輪の取組として構成しており、御意見の取組は、事務事業編（温暖化をふせぐ“エネルギー”）のKPIに設定しています。
56	50	「Ⅲ-ii 自然災害分野の取組」の具体的取組として、洪水や土砂災害の取組みが記載されていません。今までの台風や暴風雨で鶴巻地域や矢坪沢周辺では洪水被害が頻繁にあり、土砂災害で菩提46号線なども流出がありました。その対策に関わる内容を記載するべきだと思います。	A	現状事例及び対策の一つとして、御意見の趣旨を追加します。
57	51	「Ⅲ-iv 農林業分野の取組」の具体的取組の5行目、「…林業分野においては、適切な森林整備や木材利用等を実施し…」とありますが、KPIにはこれに係る内容がありませんので、施設の快特などで木材利用をしたり、それに関係する指標を設けるべきだと思います。	B	本計画では、「緩和(策)」と「適応(策)」を両輪の取組として構成しており、御意見の取組は、区域施策編（「Ⅱ 吸収・固定化の取組」）のKPIに設定しています。
58	53	「事務事業編【目的】」5行目と10行目、「環境部局」と「庁舎管理部局」をわざわざ記載する必要はないと思います。	D	課題として認識し、抜本的な見直しを図っていくこととしているため、現行の表現のままとします。

秦野市地球温暖化対策実行計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
59	54	EMSからのアプローチについて記載されていません。秦野市ホームページのEMSを確認すると、環境方針も古く、令和2年度の実績が掲載されていません。このことからEMSをはじめ、地球温暖化対策に秦野市職員が興味関心がないことがよくわかりますので、しっかりと組織として取り組んでください。	B	EMSについては、環境目標、実績及び環境方針は市のホームページ上で確認することができ、うち環境方針においては、令和2年度に新たな方針を掲げています。 今後は、本計画との役割分担を明確化し、両輪の取組として連携を図っていきます。
60	54	率先行動の徹底について、部局や課ごとのKPIは検討しないのか。	E	KPIについては、計画書に記載のあるとおり、当面の間は判定チェックリスト（職員単位で取り組める項目）により実施する予定ですが、効果検証において検討していきます。
61	55.56	環境配慮型業務への転換について、具体的取組「補助金や助成金等の情報収集に努めます」に“国等への意見、要望”も追加されたい。	A	御意見を参考に、次のとおり「補助金や助成金等の情報収集に努めるとともに、取組に対する国等への意見・要望を行います。」を追加します。
62	56	「IV率先行動の徹底：温暖化をふせぐ“こころえ”」の具体的取組として、プリンター使用の効率化やこまめな節電・節水の徹底などが記載されていますが、ペーパーレス率の向上として電子決裁機能の導入や、ノー残業デーの増日やウィークリースタンスを導入するなど、さらに具体的な取組やそれよりも重要なものを記載するべきだと思います。	B	御意見の内容については、「ナッジ」や「クールチョイス」の創意工夫とともに、取り組むこととしています。
63	56	「IV率先行動の徹底：温暖化をふせぐ“こころえ”」の具体的取組として、秦野市ホームページを拝見すると、秦野市職員からの提案にはこれに繋がる内容があります。それらを積極的に採用すれば、職員の意欲も高まると思います。	C	御意見を参考に、関連部署との連携を図ります。
64	56	「IV率先行動の徹底：温暖化をふせぐ“こころえ”」の具体的取組として、環境学習行動の取組はいいと思いますが、労働に見合った効果が出なければ、慣例的な事務になりますので、効果が出なければ即座にやめるなど柔軟な対応が必要だと思います。	B	PDCAサイクルに加え、新たにOODAループを活用するなどしながら対応していきます。

秦野市地球温暖化対策実行計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
65	56	「IV率先行動の徹底：温暖化をふせぐ“こころえ”」の具体的取組として、脱プラ行動に「河川上流市」とありますが、一般的には使われづらい言葉なので「先進市」などの言葉に言い換えたほうが良いと思います。	D	「河川の上流域に位置する市町村」を表現しています。
66	56	「IV率先行動の徹底：温暖化をふせぐ“こころえ”」の具体的取組として、脱プラ行動として、秦野市が主催や共催する飲食を伴うイベントの、飲食用の容器などを脱プラして紙製容器や再利用容器を使用すれば、大きな廃棄物の減量に繋がります。ごみ箱設置方法の検討なども大事ですが、イベントで発生するごみの抑制の方がより大きな効果を得られるだけでなく、市民にもプラ製品の使用抑制をお願いしている立場として、必要な取組みだと思います。	C	御意見を参考に、関連部署との連携を図ります。
67	56	「IV率先行動の徹底：温暖化をふせぐ“こころえ”」の具体的取組として、脱プラ行動として、「ごみ箱設置方法の検討」とありますが、管理職の前にごみ箱を設置することで、何故、脱プラ行動に繋がるのでしょうか。管理職の前にごみ箱を置くと、ごみを捨てづらくなるというのは、管理職と一般職間の風通しが悪いということだと思いますので、本計画で記載することは不適切だと思います。ただ、本計画から逸れた内容になりますが、この文が記載されているということは、秦野市役所内では管理職と一般職の風通しが良くないということだと思いますので、本計画も含めてあらゆるスキームを実行するには、まずは秦野市長含めて職員間の風通しを良くする必要があると思います。	D	現状、各課の執務室にはごみ箱が点在しており、それらを管理職のデスク付近に集約することによって、ごみ捨ての手間を増やすとともに、管理職における適切な廃棄状況のチェックや、一部においては御意見の効果をねらったものです。当然ながら、管理職と一般職間の風通しが良いことに越したことはありませんが、一方で「地域の範となる事業所」を目指すための必要な“こころえ”であるとも認識しています。 今後は、これらの行動原理を「ナッジ」や「クールチョイス」と結び付け、いかにして苦痛なく率先行動として実行していけるかについて、創意工夫による効果を検証していきます。
68	56	「IV率先行動の徹底：温暖化をふせぐ“こころえ”」の具体的取組として、回議用クリアファイルの有効活用とありますが、電子決裁を導入すれば、回議用クリアファイルの使用率が低くなって効果的だと思います。	C	御意見を参考に、関連部署との連携を図ります。
69	56	「IV率先行動の徹底：温暖化をふせぐ“こころえ”」の具体的取組として、秦野市役所に限ることではありませんが、グリーン購入をもっと積極的に推進した方が良いと思います。	B	御意見の内容については、「ナッジ」や「クールチョイス」の創意工夫とともに、取り組むこととしています。

秦野市地球温暖化対策実行計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
70	56	「IV率先行動の徹底：温暖化をふせぐ“こころえ”」の具体的取組として、市民にお願いしている行動は、市民の模範として必ず実行してほしいです。例えば、公共交通機関を利用して、マイカー通勤を減らしたり、近隣の場所への移動は自動車移動をするなどです。	B	御意見の内容については、「ナッジ」や「クールチョイス」の創意工夫とともに、取り組むこととしています。 なお、事務事業編の取組は、市民等への波及性も視野に入れていますが、あくまで市役所の実行計画として策定しています。
71	56	「IV率先行動の徹底：温暖化をふせぐ“こころえ”」の具体的取組として、エコオフィスプロジェクトを「温暖化を理解し、じぶんごと化している職員の割合」とすることは困難な気がします。例えば、WEB会議やテレワーク、回議のペーパーレス化は職員個人でできることではなくて、組織として取り組まなければ実現できません。今のKPIでは職員に委ねるには厳しいと思います。例えば、部局単位で取り組むこと、職員単位で取り組むこととするなど、もっとカテゴリー化しなければ、目に見える形として秦野市役所として地球温暖化対策が現れず、ただチェックするだけになって形骸化すると思います。	B	秦野市地球温暖化対策推進本部を積極的に活用するなど、組織として取り組むこととしています。 また、KPIについては、計画書に記載のあるとおり判定チェックリスト（職員単位で取り組める項目）により実施する予定です。
72	56	「IV率先行動の徹底：温暖化をふせぐ“こころえ”」の具体的取組の内容が、計画に記載するにはマイクロなので、もっとマクロな内容を記載した方がいいと思います。	D	「温暖化をふせぐ“こころえ”」については、一人ひとりの、一つひとつの「足元からの取組」が重要であることから、現行の記載のままとします。
73	56	「IV率先行動の徹底：温暖化をふせぐ“こころえ”」の具体的取組の内容は、積極的にホームページやSNSでお知らせした方がいいと思います。正直、市民からすると、秦野市役所の職員や議員が、私たちをお願いしていることを私たちと同じように実行しているか、わかりません。実際に行っていることを写真にして一言添えてSNSなどでお知らせするだけでも、市民に行動を促す効果はあると思います。	C	御意見を参考に、市民や事業者の皆様の有益となる情報等は積極的に発信していきます。
74	58	「V環境配慮型業務への転換②」の2030年度の目標値に「20%」と記載されていますが、約10年後が5台に1台が次世代自動車は低いような気がします。4台に1台か3台に1台にするような目標はできないでしょうか。	E	今後の取組の進捗状況及び社会情勢において、柔軟に対応していきます。 一方、公用車からのCO ₂ 排出量が市役所全体の「2.7%」であることから、費用対効果を踏まえた優先順位は、低くなる可能性があります。
75	58	「V環境配慮型業務への転換③」のエコオフィスプロジェクトには、LEDに関わる内容しかありません。太陽光設備や蓄電池設備を導入している施設数に関わるプロジェクトも設けるべきだと思います。	B	具体的取組において検討することとしています。 なお、「V環境配慮型業務への転換①：温暖化をふせぐ“エネルギー”」編のKPI「PPAモデルの導入件数」は、御意見の内容を網羅しています。

秦野市地球温暖化対策実行計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画面 該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
76	59	「3. 年度ごとの行動指標とKPIを達成した市役所の絵姿」の「IV率先行動の徹底」の脱プラ行動として「ごみも資源も●●に減らそう」とありますが、ごみを減らすことはできても資源もごみと同量分を減らすことは厳しいと思いますし、それは秦野市ごみ処理基本計画と整合するべきだと思います。	C	これは、“こころえ”の行動指標をわかりやすく示すとともに、脱プラ（ごみ減量）行動においては、3Rに加え、必要のないものは買わない、断る「リフューズ」行動の強化を意図したものです。 しかしながら、御意見のように「資源も」という表記が取組を混同させてしまう可能性があるため、指標通りの「プラ」に修正します。 なお、事務事業編における脱プラ行動、並びに区域施策編における廃棄物部門の取組については、秦野市ごみ処理基本計画と整合を図っています。
77	62	提案、要望、課題などの取りまとめ、改善 *PDCAを回し定期的に目標の達成度などを評価し、チャンスを広げ継続的改善につなげる。／市民、事業者などへの環境への取り組みなどアンケートで情報を収集	B	62Pに記載してある推進体制と進行管理において、実行していきます。
78	全体を通して	中学校給食に伴う食品ロス対策（食品残さ対策）が不十分であったと感じる。 新規の事業はもとより、今後想定される公共施設の改修等においては、温暖化対策を標準化とする統括的な議論をお願いしたい。	E	秦野市地球温暖化対策推進本部（幹事会及び作業部会を含む）をテーマごとに改編するなどして、検討していきます。
79	全体を通して	従来の石炭火力由来の電力から、再生可能エネルギー由来の電力に転換するとどの程度の費用負担（追加）が生じるのか。	E	電力供給の条件によって異なるため、一概に示すことはできませんが、御意見の費用負担については、社会構造（ライフスタイルやワークスタイル、さらにはイノベーション）の転換などを図りながら、いかにしてその差を埋めていくかが重要であると考えます。
80	全体を通して	国と同等の削減数値目標（2013年度比▲46%）を掲げることは素晴らしいが、市民への展開はどのように進めていくのか。	E	はだのふるさと大使を活用した「COOL CHOICE（クールチョイス）」の普及、啓発をはじめ、数多くの媒体を活用した取組や効果の「見える化」に努めます。

秦野市地球温暖化対策実行計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
81	全体を通して	市民や事業者、一人ひとりの意識醸成を図ることが重要であるが、産業界においては温度差があると思われる。 しっかりと課題を把握し、施策展開につなげられたい。	C	「脱炭素コンソーシアム(仮称)」における協議事項と捉えています。
82	全体を通して	農林業の健全化は、温暖化対策（吸収・固定化策）と適応策（土砂災害の防止）にもつながる重要な施策である。	C	御意見を参考に、推進していきます。
83	全体を通して	脱炭素社会の実現に向けた広報として、フォーラム等の開催は検討しているか。	E	「脱炭素コンソーシアム(仮称)」における協議事項と捉えています。
84	全体を通して	カタカナ用語が多いため、必要な注釈を付されたい。	B	カタカナ及びローマ字用語については、基本的にはdocuments「資料編」の用語解説で対応しています。 しかしながら、温暖化対策をはじめとする環境施策では、世界基準の取組であること等の理由から、そもそもの発信がカタカナやローマ字のものが大半であるため、今後の行政の役割としては、丁寧な説明を付したわかりやすい表現方法に努めてまいります。
85	全体を通して	本計画は、全84ページで構成されており、内容が多岐にわたっており、とても読み応えがあるものです。しかし、本計画は行政だけでなく、市民や企業などの協力を得なければ推進できませんが、今の計画を市民や企業は読むどころか目を通すのも億劫だと思います。神奈川県の地球温暖化対策実行計画のように、概要版をつくった方がいいと思います。	E	御意見のほか、新たな視点「こども版」も併せて作成します。
86	全体を通して	本計画では、地球温暖化対策への取組みはこれから長い期間にわたって、行政や市民、企業が協力して行わなければならない、節電や節水、行政に至っては紙資源の有効活用など、細かな心遣いが必要となる中だと、それらを規範としなければ長期間の行動は伴いづらいと思いますので、神奈川県と同様に地球温暖化対策に関わる条例を整備すべだと思えます。	C	KPI及び総合指標の達成状況、並びに市民意見（アンケート等）の把握により、判断します。

秦野市地球温暖化対策実行計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
87	全体を通して	脱炭素社会を実現するための総予算は把握しているか。	E	脱炭素社会とは、市民はもちろん、地域のあらゆる産業、事業者が方向性と取組を一にして初めて実現する社会構造であり、総予算については、相当額に達するものと想像できますが、現時点（計画初動期）において把握することは、困難であると考えます。
88	全体を通して	本計画を進めるための予算は担保されているのでしょうか。全部とまではいなくても、ベースとなる取組みの予算がなければ推進することは難しいと思います。	E	全ての取組を網羅することは難しいですが、あらゆる資源の活用、創意工夫はもとより、国等における補助制度の活用も積極的に進めていきます。
89	全体を通して	取組の優先順位はどのようなか。 特に、民生部門において市民行動を促進させるには、取組による効果の「見える化」が望ましく、そうした仕組みを検討されたい。	E	優先順位については、効果に対する視点の置き方によっても異なるため、イノベーション等の社会情勢に鑑みた判断とするほかありません。 なお、民生部門に対するアプローチについては、はだのふるさと大使を活用した「COOL CHOICE（クールチョイス）」の普及、啓発をはじめ、数多くの媒体を活用した取組や効果の「見える化」に努めます。
90	全体を通して	区域施策編、事務事業編、適応策編とあり、その中でさらに部門別に分かれています。もちろん全てを行うことは望ましいですが、仮にすべてを等しく進めることができなくなった場合にいずれかを重点的に進めるべきか設定した方がいいと思います。	C	優先順位については、効果に対する視点の置き方によっても異なるため、イノベーション等の社会情勢に鑑みた判断とするほかありません。 御意見を参考に、今後の検討事項といたします。
91	全体を通して	「秦野市地球温暖化対策実行計画（案）」の市民、事業者、団体などへの意識啓発（市民が関心を持つ、持続可能な脱炭素社会の構築へ） * 広報「はだの」に定期的に計画概要を紹介（例：「地球温暖化対策コーナー」を設けて10回程度継続で紹介）／秦野市役所の活動例の紹介／事業者の活動例の紹介	C	御意見を参考に、数多くの媒体を活用した普及・啓発に努めます。
92	全体を通して	具体的活動施策の見える化C * 省エネ行動（ペーパーレス、節電、節水、マイカー通勤の抑制など）／スマート行動（テレワークの推進、オンライン化を拡大など）／環境学習行動（意識啓発、環境に関する研修など）／脱プラ行動（分別、ごみの減量など）	C	御意見を参考に、数多くの媒体を活用した取組や効果の「見える化」に努めます。

秦野市地球温暖化対策実行計画（案）に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	計画案 該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
93	全体を通して	二酸化炭素（CO ₂ ）排出量の削減（温室効果ガス排出量削減）例の紹介	E	庁内、並びに「脱炭素コンソーシアム(仮称)」の中で情報共有します。

※このほかに、「細かな字句の訂正等（全8件）」及び「図表の解像度等（全15件）」に対する御意見・提案については、適宜、対応させていただきました。